

第 59 回香川大学祭

代表者 高原良明（経済学部経済学科 2 年）

1. 目的と概要

香川大学祭は、約 60 年続いてきた我が大学の行事であり、それをより楽しめる大学祭にするためにするプロジェクトです。

2. 実施スケジュール

平成 19 年 11 月 1 日（前夜祭）

11 月 2 日～11 月 4 日（本祭）

3. 成果の内容及びその分析・評価等

参加団体数が例年以上の数になり、ますます大学生による大学祭になったと思います。また、それとは逆に地域のみなさんは、もちろん県外の来場者にとっても楽しめる大学祭だったでしょう。

大きな問題もなく終わった大学祭でした。特に今年はステージ参加団体が多く、設置されたステージを有効に活用できました。しかし、あまりに多すぎたために一部の団体には、ステージ参加を諦めてもらうことになりました。それが残念でなりません。

模擬店にも同様のことがあったので、来年の課題として大学祭実行委員は真剣に考えなければなりません。多くの学生に参加してもらいたいという信念は貫くべきだと思います。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

大学祭を開催することによって、地域の人々に、なまの香川大学を知ってもらえたことでしょう。地域の人々が大学に来る機会としては、大学祭が一番だと思います。

参加団体につきましては、仲間で行うことの大切さを知る良い機会だったでしょう。きちんと大学祭をエンジョイしていたうえに、清掃活動などにも学生は参加し、大学の美観に少しは関心を持ったに違いありません。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

1,000人近い学生が大学祭のために何かをしたことは、大学祭実行委員会としては嬉しい限りです。参加された学生に授業では得がたい経験と素晴らしい思い出を提供できたと思います。

また、実行委員会の仕事も、私にとっては忘れられない出来事であり、成長の糧になりました。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

大学祭に関係した企業や大学職員に無茶なことを要求したのは反省しています。また、模擬店団体が深夜も元気よく活動していて近所迷惑になったことは残念です。

特に来年の大学祭は、60回目という節目を迎えるので、このような点は改めていこうと思っています。

7. 実施メンバー

代表者 高原 良明（経済学部2年）

構成員 細川 裕也（法学部1年）

末澤 諒（経済学部2年）

笹浦 孝文（教育学部1年）

西森 優真（教育学部1年）